

神恵内村の取組

取組のタイトル	～つくり育てる漁業の取組～ 神恵内村産「冬の生うに」と「藻場∞LAND」事業
取組の時期	(始期) 令和元年9月～ 継続中
関連するSDGsの ゴール・ターゲット	
取組内容	
<p>～つくり育てる漁業の推進～</p> <p>「冬の生うに」の取組 磯焼け海域から海藻類の食害を防ぐために除去した「やせウニ」を種苗とし、給餌して端境期に出荷する取組。</p> <p>道内農場から出た規格外の野菜や加工工場から出た野菜の廃棄部分をエサとし活用することでフードロスにも貢献。</p> <p>日本海側の冬期は、海が時化することも多く、漁師の収入確保にも寄与している。</p> <p>その取組が評価され、「食絶景北海道×ゼロカーボンアワード2023」の奨励賞を受賞した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	

「藻場∞LAND」事業の取組

磯焼け海域においてウニの密度管理などを実施し、藻場を増やす藻場造成事業を実施している。

藻場は魚類等の産卵場所に成るため、海を豊かにする取り組みに寄与している。

近年は、ブルーカーボンやカーボンクレジットなどの脱炭素の観点からも積極的に取り組んでいる。

